

乳幼児揺さぶられ症候群予防教育 ファシリテーター養成講座

近年、我が国の児童虐待による死亡事例は0-3歳児が約5割を占め、なかでも、0歳児のうち0-4ヶ月児が約7割を占めています。この年齢に多い虐待理由は「子どもが泣きやまない」ことへの不満や不安にあるといわれています。虐待する意図がなくても、イライラの結果、乱暴な扱いで重篤な状況に陥るケースも報告されています。

このような実情にもかかわらず、我が国では、親やこれから親になる次世代に対して、乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）や、子どもの「泣き」についての理解を深める取り組みは少なく、実証的なプログラムはごく少数しかありません。

そのため、本プロジェクト（ストップ・ザ・揺さぶられ症候群プロジェクト：SSPJ）は、乳幼児揺さぶられ症候群の予防啓発の普及を目的として活動しています。

Copyright © 2011 みっくみえ

平成27年12月12日土曜日
13:00~17:00
受付12:45~

「ストップ・ザ・揺さぶられ症候群～日本語版～」は、オーストラリア ニューサウスウェールズ州にあるウエストミッド子ども病院の揺さぶられ症候群予防プロジェクトの許可を得て、“Remember, No Matter How Upset You Feel, Shaking Your Baby is Just Not the Deal（忘れないで、どんなに慌てても絶対赤ちゃんを強く揺さぶらないで）”を新たにSSPJが日本語版として翻訳・開発したものです。



講座内容

1. オリエンテーション
2. SBSの基礎的知識
3. SBS予防教育の意義と目的
4. SBSの予防教育の実践
5. 振り返り（全体）
6. 修了証

会場

長岡市医師会館

TEL 0258-22-5600

参加費

4,000円

テキスト、DVD、資料、修了証代含む

※当日支払い

※ご希望の方は、DVD/ガイドブック…600円
カード…1セット1,000円

定員

20名 先着順 ※×切：12月5日土曜日

対象

医師、看護師、助産師、保健師、保育士、
母子に関わる医療・福祉・教育の専門職の方、
子育て支援に関わるすべての方

講師

松岡典子(NPO 法人 MC サポートセンター理事長・SBS 予防教育トレーナー他)

草間真由美(NPO 法人 子どもの虐待防止ネット・にいがた理事・SBS 予防教育トレーナー他)

主催：特定非営利活動法人子どもの虐待防止ネット・にいがた
共催：特定非営利活動法人MCサポートセンターみっくみえ

SBS 予防教育講座研修参加申込書

ふりがな お名前			
ローマ字(必須)			
連絡先 ご住所	〒		
電話番号	※携帯等、昼間に連絡できる番号をお書き下さい。		
パソコン メールアドレス			
所属		職業	
通信欄 12月12日土曜日 長岡SBS			

FAX 送信先 0258-32-0511

※送り間違いのないように、送信先をご確認ください。

※FAXでお申し込み後、受講票をメールにて送付いたします。

受講票が届きましたら、1週間以内にご入金をお願いいたします。なお、一度お振り込みいただいた受講料はいかなる場合でも返信いたしませんのでご了承ください。

FAXでお申し込み後、1週間以内にメールにて受講証が送付されない場合は、念のため、ご連絡ください。

※12月5日を〆切とし、定員に達した時点で、申し込み終了とさせていただきます。

※医師会館の駐車場はご利用できませんので、周辺をお願いします。

振込先> 北越銀行 本店 普通
加入者名：NPO法人子どもの虐待防止ネット・にいがた
理事 草間真由美
口座番号：1755076

問い合わせ先

NPO法人子どもの虐待防止ネット・にいがた

〒940-0071 新潟県長岡市表町4-1-3 草間医院内

TEL: 090-3241-6239 (草間)

Mail : capni@mac.com